

若年性認知症

ミニハンドブック

(大和市)



《若年性認知症とは？》

- ・認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合、「若年性認知症」といいます。
 - ・高齢者の認知症は女性に多いのに比べ、若年性認知症は男性に多いのが特徴です。
 - ・原因となる疾患は、血管性認知症が40%と最も多く、次いでアルツハイマー病（25%）です。
- ◎発症年齢は平均で51.3歳であり、約3割は50歳未満で発症しています。発症から診断がつくまでに時間がかかる場合が多いと言われています。

《なぜ、診断が遅れる？》

- ・年齢が若い故に、仕事でミスが重なったり、家事がおっくうになったりしても、それが認知症のせいであると結び付けられず、疲れや更年期障害、あるいはうつ状態など、他の病気と思って医療機関を受診し、誤った診断のまま時間が経過して、認知症が進み、症状が顕著になってから診断されることもあるためです。

《まず、どこに相談すればいい？》

◇若年性認知症に特化した相談

<http://y-ninchi.syotel.net/>

若年性認知症コールセンター

検索

厚生労働省が認知症介護研究・研修大府センターに委託して、専門教育を受けた相談員が若年性認知症の医療や介護、生活支援、就労支援などの面で相談を受けています。

■若年性認知症コールセンター ☎0800-100-2707

月～土曜日 10:00～15:00（祝日・年末年始を除く）

◇認知症全般についての相談

認知症介護の経験者、専門職等が認知症の人や家族等からの介護の悩みなど、認知症全般に関する相談を電話で受けています。

■かながわ認知症コールセンター

☎0570-0-78674

月・水曜日 10:00～20:00、土曜日 10:00～16:00

■よこはま認知症コールセンター

☎045-662-7833

火・木・金曜日 10:00～16:00

■川崎市認知症コールセンター「サポートほっと」

☎0570-0-40104

月・火・木・金曜日、第1・第3日曜日 10:00～16:00

第2・第4木曜日 10:00～20:00（祝日除く）



◇認知症を含む介護全般についての相談

最も身近な高齢者の総合相談窓口です。認知症地域支援推進員等の専門職が、ご相談をお伺いします。

■地域包括支援センター

地域包括支援センター名	住所・電話番号	担当地区
下鶴間つきみ野 地域包括支援センター	下鶴間418-2 ☎(272)7061	下鶴間（1450～1625、4374～4454を除く）・つきみ野
中央林間 地域包括支援センター	下鶴間1598-1 LAPLA中央林間2F ☎(271)5572	中央林間西・中央林間・下鶴間 （1450～1625、4374～4454）
南林間 地域包括支援センター	南林間1-4-18 ジュネス南林間2-1 ☎(271)5706	南林間・林間
鶴間 地域包括支援センター	西鶴間8-1-2 ☎(271)2770	鶴間・西鶴間
深見大和 地域包括支援センター	大和東3-3-16 ☎(264)3192	深見西・深見東・深見・深見台・ 大和東・大和南
上草柳・中央 地域包括支援センター	草柳2-15-1 ☎(263)1108	上草柳・桜森・中央・草柳・下草柳・ 柳橋（1・4丁目）
福田北 地域包括支援センター	柳橋2-11 （まごころ福祉センタ ー内）☎(267)9992	柳橋（2・3・5丁目） 福田（1～8丁目）
福田南 地域包括支援センター	福田1551 ☎(269)9001	代官・渋谷・福田（1～8丁目と2339 ～2617、5506～5696を除く）
桜丘・和田 地域包括支援センター	下和田822-1 ☎(268)2621	上和田・下和田・福田 （2339～2617と5506～5696）

◇認知症の医療に関する相談

認知症の専門医療相談を受けるため、専任の医師、精神保健福祉士、臨床心理技術者等を配置し、専門医療相談、鑑別診断とそれに基づく初期対応、合併症・周辺症状への急性期対応を行います。

【神奈川県認知症疾患医療センター】祝日、年末年始は休み

■東海大学医学部付属病院（伊勢原市） ☎0463-93-1121

月～金曜日 9:00～15:00、第1・3・5土曜 9:00～12:00

■国立病院機構久里浜医療センター（横須賀市）☎046-848-1550

月～金曜日 8:30～17:15

■曽我病院（小田原市）

☎0465-42-1630

月～金曜日 9:00～17:00

◇医療と介護に関する相談

在宅医療に関する相談や医療依存度が高い困難ケースの相談に対応します。

■大和市在宅医療・介護連携支援センター ☎046-200-6556
月～金曜日（祝日、年末年始は休み） 9:00～17:00

《公益社団法人 認知症の人と家族の会》

少しでも心が軽くなり、元気を出してもらえるよう、介護経験者が丁寧に相談内容をお聞きし、ご相談に応じます。

○認知症の人と家族の会 神奈川県支部 ☎044-522-6801
月・水・金曜日 10:00～16:00

○認知症の人と家族の会（無料） ☎0120-294-456
月～金曜日 10:00～15:00

<https://sites.google.com/site/kazokukanagawa/home>

《障がい者手帳の取得》

認知症と診断され、一定の精神障害の状態にあることが認定されると、「精神障害者保健福祉手帳」を取得することができます。また、血管性認知症やレビー小体型認知症など身体症状がある場合は「身体障害者手帳」に該当する場合があります。手帳の交付を受けた場合、障害種別、等級により受けられるサービスがあります。

○大和市 健康福祉部 障がい福祉課 ☎046-260-5665

《自立支援医療（精神通院医療）》

精神科等に通院している場合、医療機関や薬局で支払う医療費が所得に応じて軽減される場合があります。

○大和市 健康福祉部 障がい福祉課 ☎046-260-5665

《障がい者の就労・生活に関する相談》

障がい者手帳や自立支援医療（精神通院医療）を取得された方の生活や職業（就労）相談は大和市障害者自立支援センターが一人ひとりに合った支援を検討していきます。また、障がい者に関する相談は「なんでも・そうだん・やまと」の4事業所でもお受けしています。

相談支援事業所名	住所・電話番号
大和市障害者自立支援センター	鶴間 1-19-3 ☎046-265-5198
相談支援センター松風園	西鶴間 2-24-1 ☎046-272-0040
サポートセンター花音	柳橋 5-3-16 (ふきのとう向生舎内) ☎046-268-9914
福田の里相談支援	福田 74 ☎046-267-8425

《認知症の治療薬》

商品名	アリセプト	レミニール	リバスタッチ イクセロン	メモリー
一般名	ドネペジル	ガラントミン	リバスチグミン	メマンチン
薬効	認知症の中核症状の進行を遅らせる			
	抑うつや無関心にも効果	神経伝達物質の分泌を促進	貼付薬のため、適切に使用されやすい	興奮や攻撃性に効果
主な副作用	消化器症状（悪心、下痢）		皮膚症状	めまい、頭痛
適応	軽度～高度		軽度～中等度	中等度・高度
剤型	錠剤・OD錠・細粒・ゼリー状	錠剤・OD錠・液状	貼付剤	錠剤

※OD錠：水なしでも飲めるように、口の中で溶けるようになっている剤型

《介護者の心理の変化》

介護者ご自身の心理を理解すること、介護者を支援する上で介護者の心理を理解することは、とても大切です。必ずしも全ての介護者にあてはまるわけではありませんが、認知症を受容し、前向きに介護を行う上で参考にしてください。

第1ステージ	認知症の診断を受けたときや、不可解な行動に気づいたとき
<ul style="list-style-type: none"> 驚き 戸惑い 否認 	<ul style="list-style-type: none"> いつもと違う行動に気がつき、驚き、とまどう。病気だという事を認めたくない。
第2ステージ	ゆとりがなくなり、追いつめられる
<ul style="list-style-type: none"> 混乱 怒り 拒絶 抑うつ 	<ul style="list-style-type: none"> 精神的・身体的に疲弊し、わかってはいるけれど辛くあたってしまう 「なぜ自分が・・・」「こんなに頑張っているのに・・・」と理解してもらえないことに怒りを感じる。認知症の人を拒絶するようになり、そのことで自己嫌悪に陥ったり、うつ状態になったりする。
第3ステージ	なるようにしかならない
<ul style="list-style-type: none"> あきらめ 開き直り 適応 	<ul style="list-style-type: none"> 怒ったり、いらいらしたりしても仕方がないと気づく なるようにしかならないと思う、自分を「よくやっている」と認められるようになる。 認知症の人をありのまま受け入れた対応ができるようになる。
第4ステージ	認知症の人の世界を認めることができる
<ul style="list-style-type: none"> 理解 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症の人の症状を問題としてとらえなくなり、相手の気持ちを深く理解しようとする。
第5ステージ	自己の成長、新たな価値観を見出す
<ul style="list-style-type: none"> 受容 	<ul style="list-style-type: none"> 介護の経験を自分の人生で意味あるものとして、位置付ける。自分の経験を社会に生かそうとする。

※出典：若年性認知症支援ガイドブックより抜粋

大和市健康福祉部高齢福祉課
H29. 5. 1発行
電話：046-260-5612